

100 世界遺産の旅 (87)

ウユニ塩湖

ウユニ塩湖は、超神秘的で、超絶景である。数百万年前、海底が隆起しアンデス山脈が出来た。その時に海水ごと持ち上げられたのが、ウユニ塩湖である。海拔 3700m でその成り立ちは想像を絶する。雨期には、水深 1cm の水をたたえ、南北 100km、東西 250km の広大な鏡面塩湖が現れる。



午前 11 時、ウユニ塩湖、ボリビア、2018 年 2 月

午前 10 時、約 100 台の車が、ウユニ塩湖を目指す。全てがトヨタのランドクルーザーで、1 台あたり 4~5 名の観光客が乗車している。その殆どが、中南米、韓国、中国、日本からの 20 代若者で、年配者は皆無だった。陸地より塩湖へ下る所は、深さが 60cm 位あり、ランドクルーザーでも入水に難儀していた。車のコンボイ隊列が、徐々に崩れ、午前 11 時に目的地に着いた。眼前には 1cm の水が張り詰められ、波一つ立たない鏡面の世界である。300m 程歩いたが、鏡面の状態は全く変わらず、驚くべき自然の造形美である。



午後 1 時、昼食、ウユニ塩湖、ボリビア

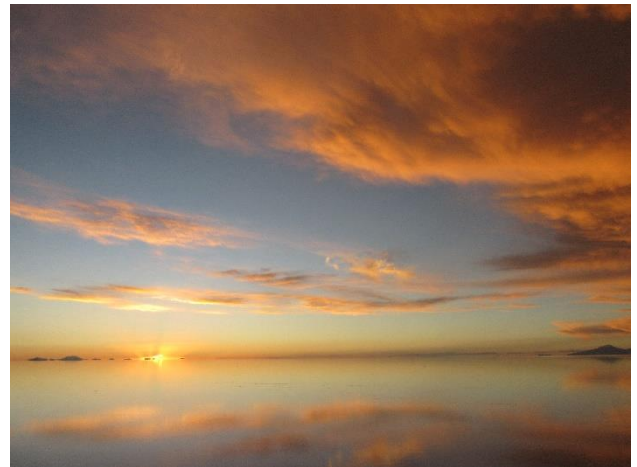
午後 1 時に昼食で、相変わらずの晴天であるが、雲の沸き出しが、遠く南方の空に見えてきた。昼食後、ドライバー主導による撮影大会で、

トリック写真や動画撮影に 2 時間ほど費やした。



午後 5 時、暴風、ウユニ塩湖、2018 年 2 月

午後 4 時頃から雲行きが大きく変わってきた。午後 5 時には、雨こそ無いが、強風で立ってもしられない。まるで極地のブリザードを想わせる暴風だった。今日の夕日は絶望かと、全員に不安が広がったが、午後 6 時頃から暗雲は、我々の方へ向きを変え、頭上を越えて後方へ流れ出した。午後 6 時半頃、僅かながら水平線を見ることが出来た。そして、時間と共に太陽が水平線に吸い込まれていった。その残光が、流れる雲に鮮やかに反映し、初めて見る壮大な夕照となっていった。



午後 7 時、夕焼け、ウユニ塩湖、ボリビア

一般的な 1 日ツアーだと、夕方にウユニの街へ戻るが、我々のツアーは、価格に相反しグレードが高く、夕日と星空鑑賞もセットされていた。快晴の大鏡面世界の朝、妙味なボリビア風の昼食、立ってられない程の烈風、空を焦がす夕日、そして星降る夜空を堪能できた。将に、1 粒で 5 度美味しい、ウユニ塩湖の 1 日だった。夜は、星こそあれ、当然、真っ暗闇で、車は GPS のみを頼りに、暗中模索の状態ですり抜けの帰路についた。

地殻変動の産物と云うべきか、世界には多くの塩湖がある。USA はラスベガスの西北 120km にデスバレーと呼ばれる塩原があり、海拔マイナス 86 m のバッドウォーターも絶景で探訪に値する。